

無菌性髄膜炎

2016年10週の3例中1例、11週の3例中1例、12週の3例中1例は検査結果としてムンプスウイルスが報告された。また、2016年12週の県全体の定点当たり報告数は、2016年9週から4週連続で0.33であったため、2008年～2016年12週に報告された333例の発生動向についてまとめた。

図1 2008年～2016年12週千葉県の無菌性髄膜炎定点当たり報告数

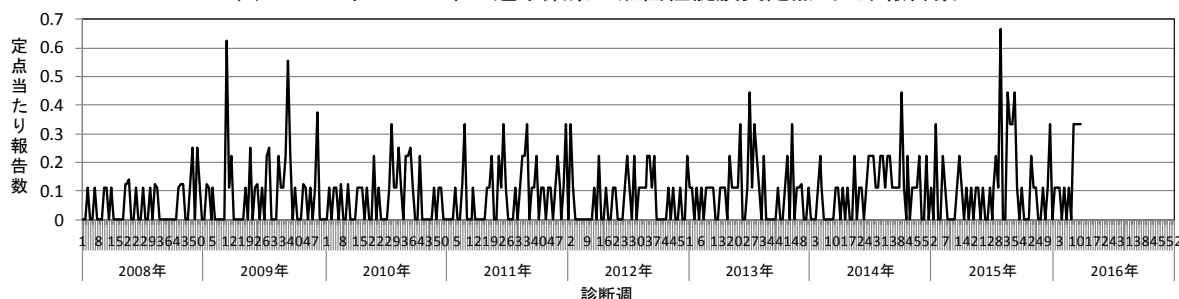


表1 2008年～2016年12週千葉県の無菌性髄膜炎 年別・性別・年齢群別報告数

		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	合計
性別	男性	12	26	17	28	18	26	35	35	11	208
	女性	10	16	16	14	14	19	13	17	6	125
年齢群	5歳未満	8	15	8	7	7	8	7	4	3	67
	5～9歳	2	5	2	6	7	0	4	3	1	30
	10～14歳	4	0	2	3	1	0	1	0	2	13
	15～19歳	4	1	1	0	1	2	3	3	1	16
	20代	1	4	7	5	4	8	7	6	2	44
30代	0	3	5	3	4	8	5	8	1	37	
40代	1	3	0	2	1	4	11	9	1	32	
50代	1	3	1	6	3	5	1	6	5	31	
60代	0	6	4	2	3	4	2	0	0	21	
70代	1	1	3	4	0	5	3	8	0	25	
80代	0	1	0	4	1	1	4	4	1	16	
90代	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
合計		22	42	33	42	32	45	48	52	17	333

表2 2008年～2016年12週千葉県の無菌性髄膜炎 病原体別検査結果

検査結果	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	合計
ムンプスウイルス	0	2	1	2	5	0	0	0	3	13
水痘・帯状疱疹ウイルス	0	0	0	3	0	1	1	3	1	9
クリプトコッカス	0	0	0	2	2	2	0	1	0	7
結核菌	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
ヘルペスウイルス	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
肺炎マイコプラズマ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
単純ヘルペスウイルス	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
他の細菌	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
不明	22	26	25	31	22	40	32	42	12	252
陰性	0	13	6	1	0	2	13	6	1	42
合計	22	42	33	42	32	45	48	52	17	333

報告時期に明瞭な季節性は認められなかった(図1)。

性別は、男性208例(62.5%)、女性125例(37.5%)であった(表1)。

年齢群別では、5歳未満が67例で最も多くの報告があり20.1%を占めた(表1)。

検査結果として報告された病原体を表2に示す。不明及び陰性が294例(88.3%)であった。検査結果がムンプスウイルスとして報告された13例の年齢群は、5～9歳8例、10～14歳4例、30代1例であった。検査結果が水痘・帯状疱疹ウイルスとして報告された9例の年齢群は、15～19歳2例、30代2例、60代1例、70代2例、80代2例であった。検査結果がクリプトコッカスとして報告された7例の年齢群は、50代2例、60代1例、70代1例、80代3例であった。